

令和3年度事業報告書

一般社団法人地域医療機能推進学会

令和3年度事業報告

令和3年度において、一般社団法人地域医療機能推進学会（以下、学会という。）は、設立の目的である独立行政法人地域医療機能推進機構等（以下、JCHOという。）に勤務する学会会員の資質の向上、地域医療に関する調査研究及び教育の促進を図り、もって地域医療の向上及び医学・医療の発展に寄与するための各種事業を実施した。

また、学会会員の特典として行っている福利厚生制度の充実を図るため、学会会員への利用促進を図るとともに、新たな福利厚生制度の導入を検討し実施した。

なお、令和4年3月31日時点の会員数は18,383人であった。

令和3年度に学会が実施した各種事業は、以下のとおりである。

1. 社員総会、理事会を下記のとおり開催した。

(1) 社員総会

- ・令和3年6月30日、監事選任の件、第7期計画書類等承認の件、令和3年度事業計画案承認の件、令和3年度予算案承認の件について書面決議が行われ承認された。
- ・令和3年10月1日、理事1名の選任の件について書面決議が行われ承認された。

(2) 理事会

- ・令和3年6月9日、監事選任の件、第7期計画書類等承認の件、令和3年度事業計画案承認の件、令和3年度予算案承認の件、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項による第7回定時社員総会書面決議提案の件について決議が行われ承認された。
- ・令和3年9月24日、理事1名の選任の件について書面決議が行われ承認された。
- ・令和3年10月1日、業務執行理事選定の件について書面決議が行われ承認された。
- ・令和4年1月21日、第6回JCHO地域医療総合医学会開催中止の件について書面決議が行われ承認された。

2. JCHO地域医療総合医学会の開催

学会では、令和3年度に開催を予定した『第6回JCHO地域医療総合医学会』（東京都）の準備作業を進めてきた。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催の中止が決定したことに伴い、それまでに進めてきた準備作業にかかる事後処理や対応を行った。

第6回JCHO地域医療総合医学会の企画構成、運営方針、会期変更、開催可否等を協議するため下記のとおりプログラム委員会を開催した。(第1回及び第2回は前年度に開催。)

- ・第3回プログラム委員会：令和3年5月28日
- ・第4回プログラム委員会：令和3年8月24日
- ・第5回プログラム委員会：令和3年12月16日

また、令和4年度に開催が決定している『第7回JCHO地域医療総合医学会』(熊本県)の各種準備を進めるとともに、新たな運営方式の検討や感染対策に配慮した企画構成及びプログラム編成等について情報収集を行った。

第7回JCHO地域医療総合医学会の開催方針や企画構成等を協議するため下記のとおりプログラム委員会を開催した。

- ・第1回プログラム委員会：令和3年10月20日
- ・第2回プログラム委員会：令和4年2月16日

3. 地域医療機能推進学会セミナーの開催

学会では、令和3年度に各職種を対象とした地域医療機能推進学会セミナーの開催を計画し、各部会に「学会セミナー実施提案書」の提出を依頼した。そのうち5つの部会から提案された実施案について開催時期や実施方法を検討したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う医療現場の状況等を踏まえて、すべての開催を取り止めた。

4. 福利厚生制度の実施

学会では会員特典としての各種福利厚生制度を実施しているが、今年度においても新たな福利厚生制度を数件追加し、一層の充実を図ってきた。

また、JCHOの新規採用職員全員に入会案内とともに、各種福利厚生制度の紹介パンフレットを配布し、学会への加入促進を図るとともに学会が実施する各種事業について情報提供を行った。

5. 一般社団法人地域医療機能推進学会理事会規則第9条に定める部会の運営

JCHO地域医療総合医学会事業、研修事業及びその他の事業の企画立案・実施等の各種事業が円滑に行われることを目的として設置した、院長部会、事務部会、看護部会、薬剤部会、放射線部会、臨床検査部会、リハビリ部会、栄養部会、臨床工学部会の運営支援等を行った。

また各部会は、令和4年3月に書面開催による部会総会を開催し、『部会会則』に定める決議事項等の協議を行った。

6. 会員への情報発信等

学会の広報誌『一般社団法人地域医療機能推進学会だよりN I J I』を4回（春号：2021年6月、夏号：2021年9月、秋号：2021年11月、冬号：2022年3月）刊行した。掲載内容は、学会が実施する各種事業の概要、会員特典（福利厚生制度）の紹介やキャンペーン情報、部会への情報提供等であった。特に冬号では、開催中止となった第6回JCHO地域医療総合医学会を特集し頁数を増やして刊行した。

また、本会Webサイトは近年掲載内容が増すとともにアクセス件数も多くなってきたためセキュリティ対策に重点を置いたリニューアルが喫緊の課題である。今年度はリニューアルに向けての準備段階として、Webサイト構築や運用管理、セキュリティ対策等について情報収集を行った。